

《最近の県内経済》 (2025年4月を中心として)

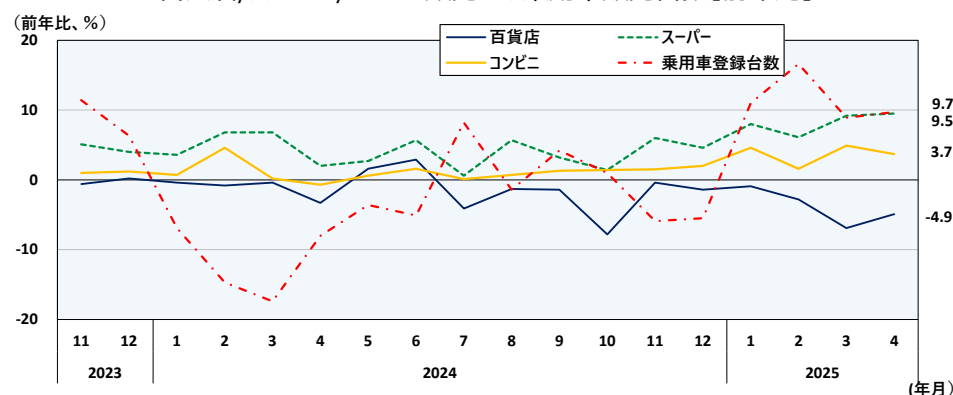
今月の概要

緩やかに持ち直している。



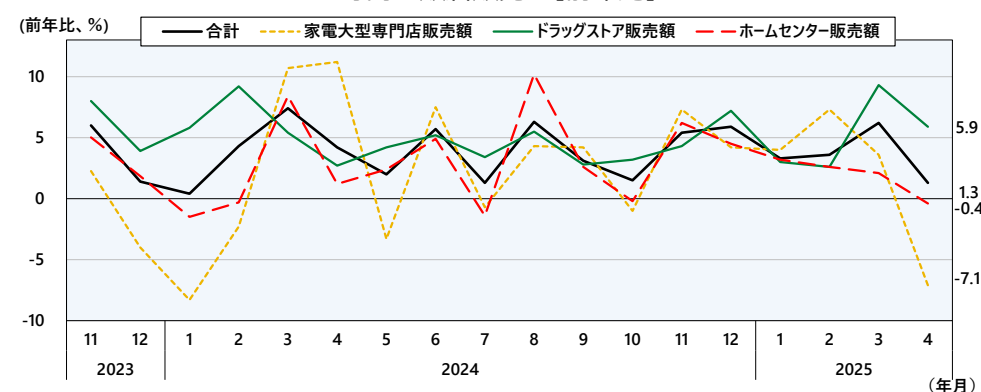
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

4月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は101億円で前年比4.9%減（10か月連続の減少）、スーパーは1,128億円で同9.5%増加した。（31か月連続の増加）また、コンビニ販売は576億円で同3.7%増加した。（12か月連続の増加）

食料品を中心とした価格上昇により一部に買い控えや低価格商品へのシフトもみられるが、客単価が上昇しており、売り上げ増加に寄与した。

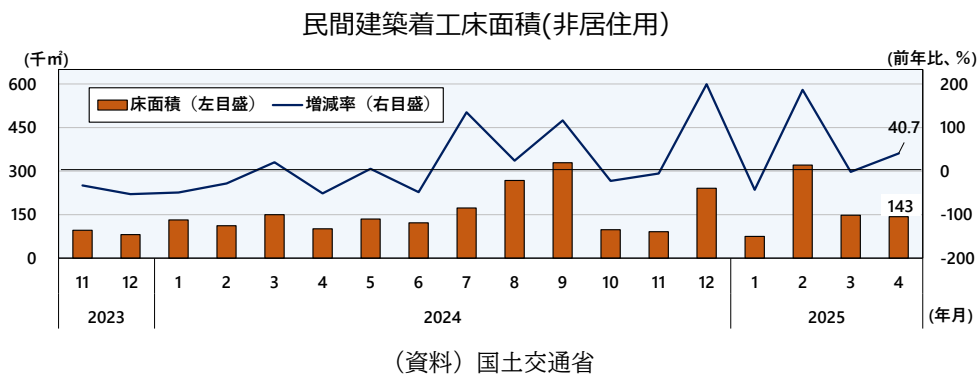
また、乗用車販売は、前年比9.7%増と4か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同2.4%減（10か月振りの減少）、小型車が同13.1%増（4か月連続の増加）、軽自動車と同27.2%増（4か月連続の増加）となった。普通車は、新車効果の一服感が一部で見られたものの、全体としては前年の検査不正に伴う生産減の反動等により増加している。

4月の専門量販店販売額は805億円で前年比1.3%増と31か月連続で増加した。内訳をみると家電大型専門店が173億円で同7.1%減（6か月振りの減少）、ドラッグストアが437億円で同5.9%増（35か月連続の増加）、ホームセンターが195億円で同0.4%減少した。（6か月振りの減少）

家電大型専門店では、パソコンや携帯電話といった情報機器は好調だったものの、生活家電が伸び悩み、特にエアコンは前年の補助金や気温上昇による特需の反動もあって減少した。ホームセンターでは、園芸・エクステリア、カー用品・アウトドア、インテリアなどが減少した。

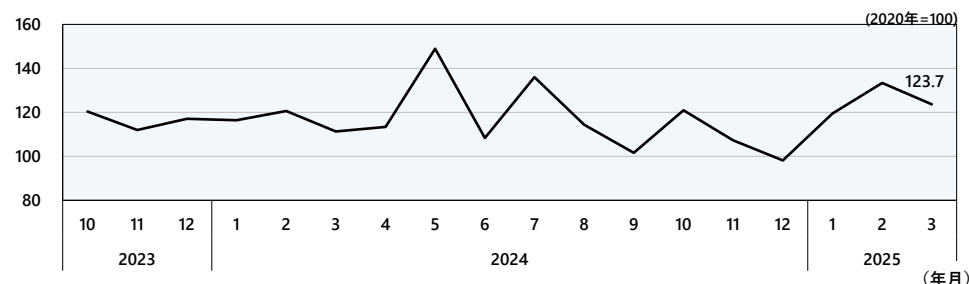
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、3月〈35.5〉、4月〈32.4〉、5月〈33.6〉と推移している。

2 設備投資～持ち直している ➡



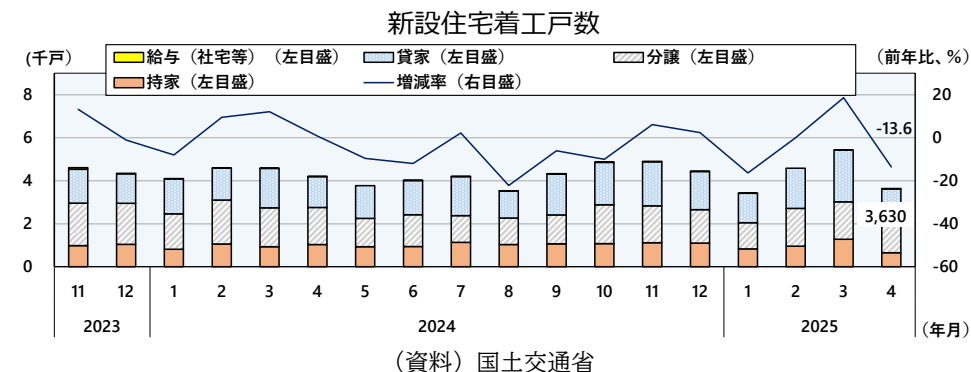
4月の民間建築着工床面積(非居住用)は、143千㎡で前年比40.7%増加した。(5か月後方移動平均では、前年比61.1%増加)。
用途別にみると、店舗、倉庫は減少したものの、事務所、工場及び作業場、病院・診療所は増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



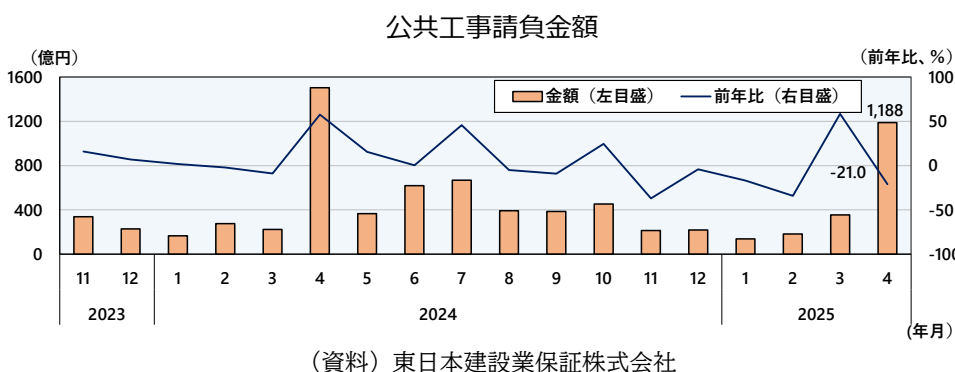
3月の資本財出荷指数(季節調整済)は123.7で、前月比7.3%減少した。(5か月後方移動平均では、前年比0.5%増加)

3 住宅建設～減少傾向に歯止めがかかりつつある ➡



4月の新設住宅着工戸数は、3,630戸で前年比13.6%減少した。(5か月後方移動平均でも1.3%減)。利用関係別にみると、貸家(1,610戸)が同12.1%増加したものの、分譲マンション(463戸)が同8.3%減、持家(655戸)が同36.7%減、分譲一戸建て(884戸)が同27.5%減少した。

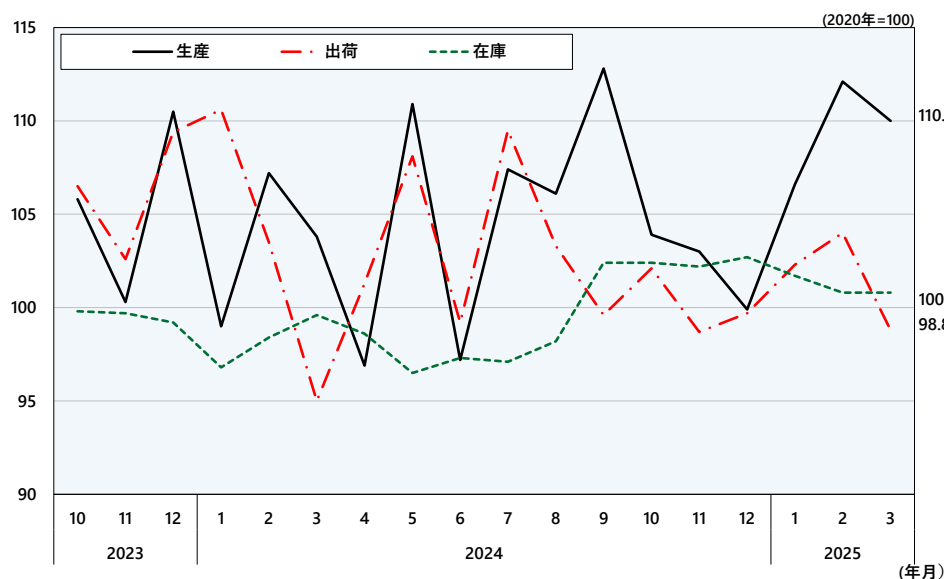
4 公共工事～底堅く推移している ➡



4月の公共工事請負額は1,188億円、前年比21.0%減少した。5か月後方移動平均では前年比13.2%減で推移。発注者別の前年比をみると、国、都道府県、地方公社は増加したものの、独立行政法人等、市区町村は減少した。

5 生産活動 ～一進一退 ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



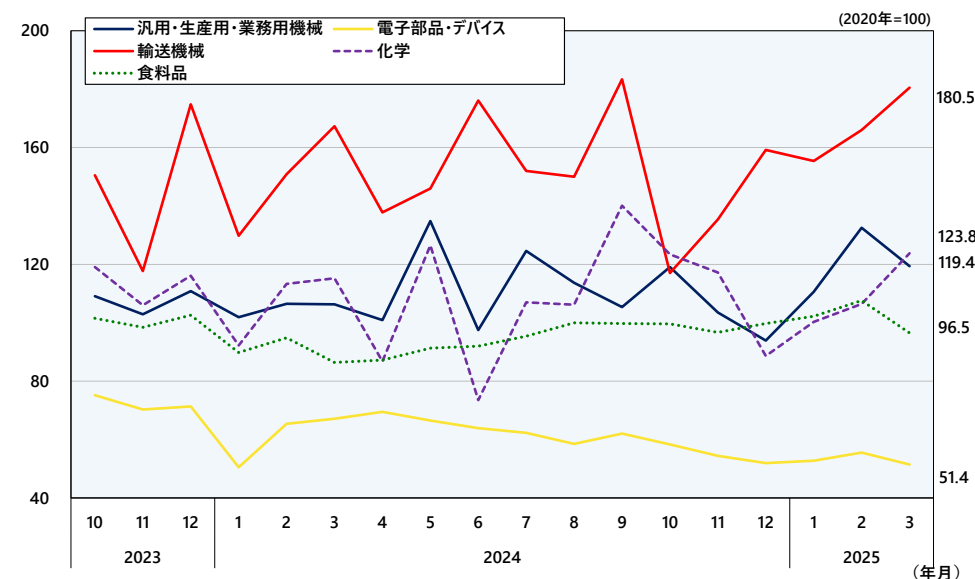
(資料) 埼玉県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.0で前月比1.9%低下した。化学(医薬品、印刷インキ用ワニス)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇したが、食料品(チョコレート類、アイスクリーム)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造機械)などが低下した。

出荷指数(同)は、98.8で同5.0%低下した。輸送機械(乗用車、普通トラック)、情報通信機械(搬送装置、ガス警報器)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、食料品(チョコレート類、アイスクリーム)などが低下した。

在庫指数(同)は、100.8で同横ばいとなった。電気機械(電気計器、電気掃除機)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製フィルム)などが上昇したが、情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))、輸送機械(乗用車、けん引車)などが低下した。

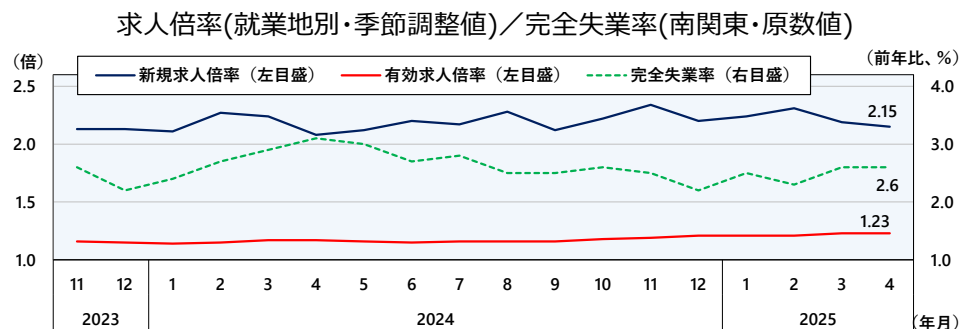
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

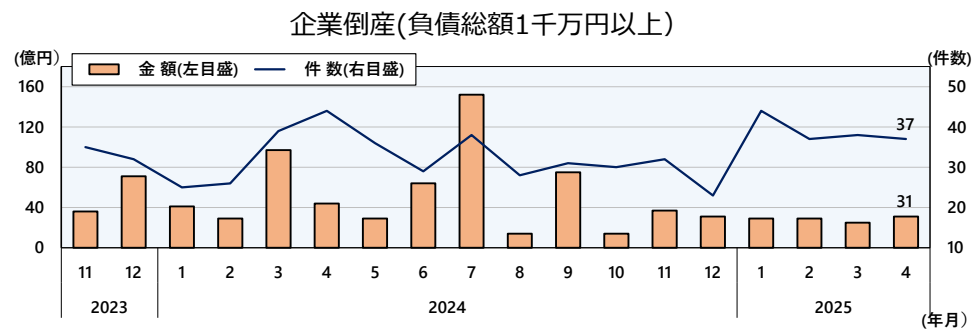
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、119.4で前月比9.9%低下し、3か月ぶりに低下した。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、51.4で同7.4%低下し、2か月ぶりに低下した。
- ◆ 輸送機械(同)は、180.5で同8.7%上昇し、2か月連続で上昇した。
- ◆ 化学(同)は、123.8で同16.4%上昇し、3か月連続で上昇した。
- ◆ 食料品(同)は、96.5で同10.3%低下し、4か月ぶりに低下した。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している ➡



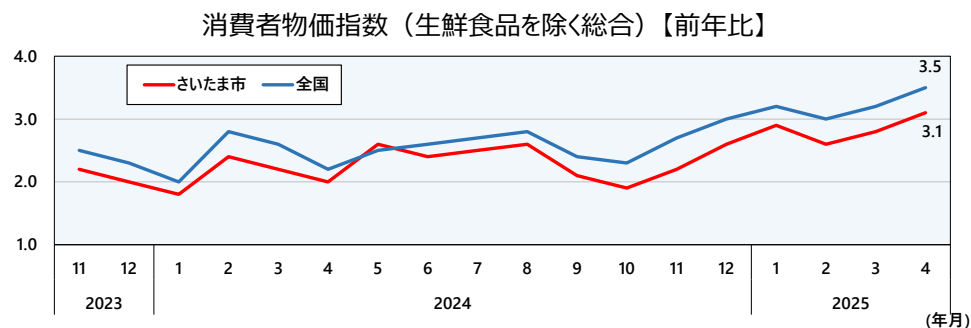
4月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.23倍で前月比横ばいとなった。新規求人倍率(同)は、2.15倍で同比0.04ポイント下落した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前月比横ばいとなった。

7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある ➡



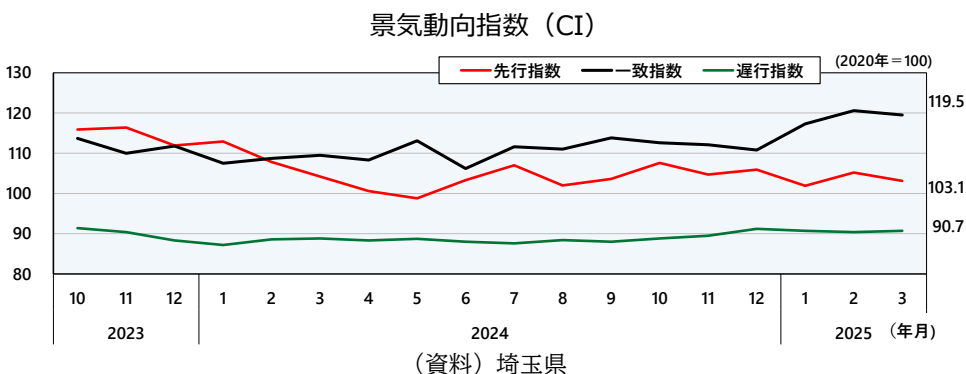
4月の企業倒産件数は37件で前年同月比7件減少した。また、負債総額は31億円で同比13億円減少した。(5か月移動平均では、件数は前年比3件増加、負債総額は同27億円の減少)
業種別にみると、小売業が最多で11件、次いでサービス業が8件、製造業が7件となっている。主因別では、販売不振が35件となっている。

8 消費者物価 ～緩やかに上昇している ➡



4月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、109.7で前年同月比3.1%上昇した(43か月連続の前年同月上昇)。
食料(穀類)、光熱・水道(電気代)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～上方への局面変化を示している



- ・3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、119.5で前月比1.1ポイント下降し、3か月ぶりに下降した。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、103.1で同2.1ポイント下降し、2か月ぶりに下降した。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.7で同0.3ポイント上昇し、3か月ぶりに上昇した。